



令和7年度

学校だより

小金井市立前原小学校 校長 小柳 政憲

10月31日発行 No.9

小金井市前原町3-4-22

TEL 042-383-1146

FAX 042-382-2046

HP: <https://www.maehara.school>

開花～努力の結晶を輝かせて～

副校長 板澤 紗子

今年度の運動会は、久しぶりに児童席にテントを設けず、見通しのよい校庭で実施いたしました。朝には急な雨に見舞われ、実施が危ぶまれる場面もありましたが、皆様のご協力のおかげで予定通り開催することができました。ご来場くださった保護者の皆様、地域の皆様には、子供たちの輝く姿を直接ご覧いただくことができ、大変うれしく思っております。ありがとうございました。当日は、PTA本部役員の皆様をはじめ、多くの保護者ボランティアの皆様に受付業務などをご支援いただきました。また、南中学校・第二中学校の中学生もボランティアとして活躍しました。多くの方々のご協力により、安全かつ円滑に運動会を進行できましたこと、改めて深く感謝申し上げます。

今年度の運動会スローガン【開花～努力の結晶を輝かせて～】には、「これまでの努力の過程を大切にすること」と、「応援してくださるすべての方々を魅了したい」という2つの願いが込められています。スローガンは代表委員会を中心に、各学級の意見を集約して決定しました。数多くのキーワードを出し合い、何度も話し合いを重ねた結果、子供一人一人の思いが込められた14文字のスローガンが完成しました。このスローガンを決める際にも、対話活動を大切にしながら意見を出し合い、よりよい言葉を探っていきました。本校では、この「対話活動」に着目して授業や学校生活を展開しています。

対話活動には主に「教材との対話」「教師との対話」「友達との対話」「自分自身との対話」の4つがあります。その中でも「友達との対話」は、学びを深めるうえで非常に重要な要素です。友達との対話を深掘りしていくと、単なる「会話」や「話し合い」とは異なる側面が見えてきます。対話とは、互いの考えを受け止め、共通点や違いに気付きながら、新たな視点や理解を得るプロセスです。例えば、【自分の考えを伝える力】【友達の意見をしっかり聴く姿勢】【異なる考え方を尊重しながら、折り合いをつける力】です。

これらの力は、まさにこれから社会を生きていく子供たちにとって必要不可欠な力です。それぞれの主張に耳を傾け、何度も言葉を練り直す中で、全員が納得できるスローガンへとたどりつけました。この過程こそが、まさに「友達との対話活動」の成果であり、児童の成長の証でもあります。

今後も本校では、こうした対話の力を育てる教育活動を大切にしていきたいと考えています。



第2回 学校運営協議会 開催

9月26日に2回目の学校運営協議会を実施しました。この日は、4時間目の授業を参観、給食試食、会議と盛りだくさんの内容でした。詳しい内容については、会議録をご参照ください。

写真は、本校の茂木主任教諭による全国学力・学習状況調査の結果報告の様子です。パワーポイント資料を使用しながら、委員の皆様に説明しました。

